

ピース・ウイング長崎 会報

へんりゃ

134号

■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 祈念館長就任のあいさつ
- 被爆体験記朗読ボランティア育成講座の開講
- 平成23年度事業報告、決算内訳
- 原爆死没者名簿風通し
- TOPICS (下平氏へ市政功労表彰、被爆者健康講話について、平和の灯のお知らせ)
- 秋月グラントの募集
- アジア青年平和交流事業について
- 写真資料調査部会の原爆写真展のお知らせ



被爆体験記朗読ボランティア育成講座の様子 (3ページに記事)



館長就任あいさつ

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館
館長 智多 正信

このたび、公益財団法人長崎平和推進協会が厚生労働省から管理運営を受託している国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の館長に就任いたしました智多正信と申します。

追悼平和祈念館は「平和祈念・原爆死没者追悼」「被爆関連資料・情報の収集及び利用」「国際協力及び交流」という機能を持っています。すなわち、国により原爆死没者の犠牲を銘記し、恒久の平和を祈念するために広島と長崎に設置された我が国の平和への姿勢を示すシンボルとなる施設です。

被爆地である長崎は恒久平和の実現に向けて様々な使命を持っています。ここでは、訪れる多くの人々が原爆資料館で実相を知り、追悼平和祈念館で追悼し平和を祈る。まさに両館が一体となった活動を進めています。しかし、残念ながらまだ、本館は認知度が高くありません。事実、本館の来館者は原爆資料館に入館された方々の十数%に過ぎません。この平和の丘では是非、両館併せて見学し、真の平和を理解する糧とし、恒久平和を希求して頂くとともにお知り合いの皆様にもご紹介いただきたいと思います。

被爆者の高齢化が進むなか、これからは本館にとって「被爆体験の継承」「海外への発信」が大きな課題です。被爆体験記朗読ボランティア育成派遣、ピースネット、グローバルネットの充実に努めるとともに、被爆体験記や証言映像のさらなる多言語化に取り組まなければなりません。世界各都市での原爆展も開催しています。これらは「国際協力及び交流」のもと国内外に平和のネットワークを広げる本館の重要な事業でもあり、さらに推進していく所存です。

今、原爆死没者名簿が安置された追悼空間では多くの追悼集会が行なわれています。原爆で亡くなられたすべての方々への追悼と平和祈念を小中高校生など若い世代が静かに行なっている姿に接すると、恒久平和は必ず実現できるとの思いを強くします。そのためにも平和推進にかかわっておられる多くの人達と共に「被爆の継承、核兵器の廃絶、恒久平和の実現」に努めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

祈念館館長に智多氏が就任

秋月グラント助成事業募集!

当協会創始者のひとりである故秋月辰一郎氏の名前を冠した「秋月グラント」では、被爆体験の継承や平和意識の高揚を図るための活動などへ財政的な支援を行っています。今年度実施する事業について、現在申し込みを受け付けていますので、お役立てください。

対象：基本的には次の①から④のような平和啓発のための活動を新たに企画・実施しようとする個人、団体を対象とします。

- ① 被爆・戦争体験を後世に伝えるための活動企画
- ② 国内外において、国際的な平和交流を目的とした新規の活動企画
- ③ 調査研究・資料収集・教育などの幅広い平和啓発のための新たな活動企画
- ④ その他、被爆体験の継承や平和意識高揚のための活動企画

助成額：全体事業経費の3/4以内の金額（20万円を限度）とし、事業内容によって助成額を決定します。

助成額の支給：事業が終了し活動報告が提出された後、支給します。

申込期限：平成24年11月30日まで。なお助成額が当該年度の予算額を超えた場合は、その時点で締め切ります。詳しくは協会事務局（☎（095）844-9922）までお尋ねください。

定時評議員会で平成23年度の「事業報告」及び「決算」を承認、 一部の理事・監事、評議員を新たに選任

去る5月30日、定時評議員会が開催され、平成23年度の「事業報告」及び「決算」の承認を受けました。

また、定期異動等による辞任に伴い、後任の理事・監事及び、評議員が選任されました。
平成24年5月30日以降の理事・監事、評議員の方々は次のとおりです。（敬称略）

（理事25人）

（理事長）横瀬 昭幸 （副理事長）船山 忠弘、朝長 万左男
（理事）青木 由孝、岩下 加代子、小笠原 一弘、川副 忠子、小瀬良 明、
里見 浩則、塩田 淑文、谷口 稜嘩、豊倉 極、中川 知昭、中嶋 照次、
中島 正徳、中村 明俊、中村 キクヨ、中山 明子、馬場 宣房、
深堀 好敏、本田 貞勝、正林 克記、升本 由美子、吉田 睦子、
芳川 孝太郎

（監事2人） 小川 順、佐藤 宏文

（評議員26人）尼崎 正明、天野 俊男、安藤 洋章、内田 伯、梅山 賢一、浦下 悦二、
小澤 明、金富 竹志、熊江 雅子、黒川 智夫、財前 博、芝野 由和、
谷田 邦一、豊福 健一郎、長尾 保子、林田 克己、平川 茂子、
船本 貴之、堀本 進、牧 清、増山 順子、山口 八重子、山口 淳也、
山本 正興、渡邊 英寿、渡邊 弘

※太字は新たに選任された方です

理事・監事、評議員の皆さまにおかれましては、今後とも当協会の事業運営にお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

被爆体験記朗読ボランティア育成講座が開講

原爆投下から67年目を迎え、被爆体験をどのように継承していくかが重要な課題となっている中で、本年4月、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館では「被爆体験記朗読ボランティア育成講座」を開講しました。

当初は30人を予定して受講生の募集をしていましたが、予定を大きく上回る87人の応募がありました。大阪府や福岡県からの応募もあり、ご応募いただいた皆さんの応募動機ひとつひとつから継承への強い意志や平和への想いが感じられ、応募者全員を受講生として受け入れることとし、最終的に83人で講座はスタートしました。

講座は、年間を通して15回開催し、原爆に関する基礎研修や、NHKアナウンサーによる朗読指導、グループ練習等を行います。また、本年10月末に開催する「長崎国際平和映画フォーラム2012」の中では、来場者を前にしての朗読会も予定しており、研修と実践を交えながら朗読の技術を磨いていきます。



永野悦子さんによる被爆体験講話
（第1回講座）



平和案内人によるガイド
（第2回講座）



NHK塩屋アナウンサーによる講義
（第3回講座）

昨年度はこのような事業を行いました!

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与し、
平和への認識をさらに深めてもらうために、平成 23 年度は次の事業を実施しました

I 平和推進事業

1 発刊事業 (1,484,832 円)

会報「へいわ」、ブックレット「平和のあゆみ」、会員勧誘パンフレット等の作成・発行

2 啓発事業 (1,134,042 円)

被爆体験講話の実施

平成 23 年度 1,352 件 172,820 人
内訳 小学校 537 校、中学校 502 校
高校 239 校、一般 74 件

被爆の実相を伝えるため、修学旅行生や市内の小・中学生などに被爆体験講話を実施しました。

講演会の開催

八名信夫氏講演会
平成 24 年 2 月 18 日 (土)
場所：長崎市平和会館ホール
入場者数：約 200 人



県外被爆体験講話(原爆展を含む)の開催

平成 23 年度開催都市 8 市
大阪府八尾市、宮崎県日向市、秋田県秋田市、
北海道札幌市、熊本県熊本市、北海道函館市、
千葉県浦安市、神奈川県藤沢市

原爆の問題について、触れる機会の少ない県外の方々に被爆者の体験講話を交え、被爆の実相や核兵器の恐ろしさを知ってもらうために県外の都市や長崎市の協力を得て開催しました。

また、長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」にも講話者を派遣し、県内 2 市町及び九州内の 4 大学において講話を行いました。



八尾市での講話の様子



九州情報大学での講話の様子

原爆被災写真パネル・ビデオの貸し出し

平成 23 年度 パネル 16 件 ビデオ 176 本

国連軍縮週間行事

当協会では、国連憲章の発効記念日である 10 月 24 日から 1 週間の「国連軍縮週間」中に、市民の平和意識の高揚と平和問題の認識を高めるため、戦時食コーナー等を設けた「市民のつどい」を開催していますが、平成 23 年度は荒天のため中止しました。

3 調査研究事業費 (44,500 円)

国際平和シンポジウムへの参加

当協会が後援した「国際平和シンポジウム」(広島市)に理事長が参加し、核問題の解決や核兵器廃絶に向けて、情報収集及び意見交換を行いました。

4 育成事業 (4,494,277 円)

部会活動費

- 継承部会 ○写真資料調査部会
- 国際交流部会 ○音楽部会

市民の幅広い参加を求めながら、会員が市民とともに平和意識の高揚を深めるために活動を行いました。

アジア青年平和交流事業

これまでアジアの国々との「相互訪問」により交流を図ってきましたが、平成23年度より「企画採用形式」に事業の方針を転換し、公開コンペティションにより活水高等学校平和学習部の「いしぶみもり活動」を事業認定しました。

平和案内人派遣事業

小中学生や観光客を対象として碑巡りや資料館、祈念館などの案内をしました。延べ3,680人のガイドを派遣しました。

平成23年度活動実績

	利用・申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延べ)
常駐ガイド	2,383件	9,868人	1,465人
碑巡りガイド	313件	18,337人	1,809人
資料館予約ガイド	102件	3,935人	406人

平和活動支援、秋月グラント

協会の活動趣旨と一致する音楽会、シンポジウム及び外国人弁論大会などの活動や、被爆の継承や平和意識高揚のための事業へ助成をしました。

5 平和推進事業にかかる人件費 (18,969,856 円)

6 平和推進事業にかかるその他の諸経費 (2,254,206 円)

7 貸出用写真パネル購入費用 (268,800 円)

II 長崎原爆資料館運営事業 (15,044,076 円) (原爆資料館観覧料徴収及び受付案内業務)

III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業 (4,730,594 円) (原爆資料館図書資料整理業務)

IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 (200,533,590 円)

V 収益事業

(売上金額 17,542,417 円)

原爆・平和に関する図書や平和意識啓発普及のためのグッズなどを長崎原爆資料館のミュージアムショップで販売しました。



VI その他管理運営に係る費用

(3,146,371 円)

法人の事業を管理するため各委員会、理事会、評議員会等を開催する費用等に支出しました。

アジア青年平和交流事業

「自分たちが考えるアジアの若者同士の 国際・平和交流プログラム」

企画募集中!

長崎平和推進協会が平成15年度から実施している「アジア青年平和交流事業」は、若者の発想を広く取り入れ、かつ若者自身による自主的・継続的な取り組みにしていこうという観点から、昨年度より、長崎とアジアの国の「相互訪問形式」から公開コンペティションを通じた「企画採用形式」へとその内容を大きく転換いたしました。

今年度も、長崎県内の各大学、高専、高校に対して、「自分たちが考えるアジアの若者同士の国際・平和交流プログラム」というテーマで公開コンペティションの募集を行っています。

公開コンペティションによって選抜されたものは、協会より事業運営資金を提供し、応募された企画に従い、実際に若者自身にプログラムを実施してもらうことにしています。

応募締め切りは7月13日（金）と期限が迫っていますが、皆さまのご家族、ご親戚、ご友人などに該当する学生・生徒さんがいらっしゃいましたら、ぜひ応募をおすすめください。

公開コンペティション 開催のお知らせ

応募された企画の審査を行うための「公開コンペティション」を次のとおり開催します。ご来場の皆さまと応募者との質疑応答の時間も設けておりますので、ぜひご来場ください。

日時：7月21日（土）13：30～

会場：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ（長崎市平野町7-8）

審査員：審査員長 土山 秀夫氏（元長崎大学学長）

浜永 孝雄氏（公益財団法人長崎県国際交流協会常務理事事務局長）

牛嶋 洋一郎氏（東山手「地球館」館長）

船山 忠弘氏（公益財団法人長崎平和推進協会副理事長）

内容：①応募者によるプレゼンテーション（アイデア発表）

②審査員及び一般来場者と応募者との質疑応答

③審査員による審査

④表彰式

応募に関する詳しい内容及び公開コンペティションについては、協会 HP（<http://www.peace-wing-n.or.jp/>）をご覧ください。事務局（電話(095) 844-9922）までお問い合わせください。



追悼平和祈念館
だより

原爆死没者名簿風通し

5月22日、新緑の色増す穏やかな日差しの中、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の交流ラウンジで、原爆死没者名簿の風通しが行われました。

原子爆弾によって犠牲となられた一人ひとりのお名前を、生きていた証として書き綴っている原爆死没者名簿は、長崎市職員11人の手によって、ひとつひとつ整然と並べられました。

11時2分、平和を祈る鐘の音が響く中1分間の黙とうが捧げられ、白い手袋をはめた職員が一枚ずつ丁寧に名簿をめくり、湿気を払っていきましました。



追悼空間の原爆死没者名簿棚に納められます。

風通しを終えた名簿は、8月9日の原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に奉安されるまで、同館の

名簿には長崎に投下された原爆で亡くなった15万5546人分の氏名や死亡日、享年が記され、その数は2011(平成23)年8月9日の時点で157冊にのびります。その中には広島原爆で亡くなった長崎市民ら10人分を記した「長崎市広島原爆死没者名簿」1冊が含まれます。

祈念館の開館時間延長について

追悼平和祈念館は、8月7日から9日まで、開館時間を通常の午後6時30分から午後8時に延長します。地上部の水盤の灯りも午後8時まで点灯していますので、夜間のご来館の際は、ぜひご覧ください。

ただし、原爆死没者名簿は8月8日から10日までは、平和祈念式典に奉安されるため、名簿棚に安置されていませんのでご了承ください。

遺影や体験記をお寄せください

追悼平和祈念館では、原爆で亡くなられた方のお名前やご遺影を募集しています。(原則としてご遺族の方からのみ)。お寄せいただいたお名前やご遺影は祈念館に登録、永久保存され、公開を希望された方は、館内のモニターでご覧いただけるようになります。

また、被爆体験を綴った体験記も募集しています。体験記は被爆の実相を後世に伝えるため、祈念館で整理したのち、館内の閲覧室で公開します。

問い合わせ：追悼平和祈念館
電話(095)814-0055

祈念式典は祈念館でも中継します

8月9日に開催される平和祈念式典は、追悼平和祈念館でもご覧になれます。

当日は式典会場と地下2階の交流ラウンジを中継で結び、式典の様子を放映します。なお、来場された方には式典の式次第と平和宣言文を解説したパンフレットを配布します。

※部数に限りがあるため、配布は途中で終了することがあります。
※荒天により式典がブリックホールになった場合、中継はありません。

原爆写真展が開催されます

当協会写真資料調査部会の原爆写真展が今年度も開催されます。

「原爆からの復興・NAGASAKI」

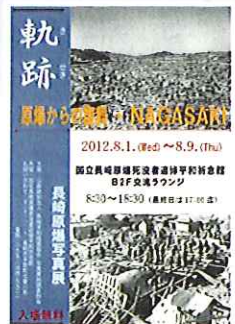
写真資料調査部会では、この時期に各所で原爆被爆に関する写真展を開催しており、今回は「原爆からの復興」をテーマに開催します。

東日本大震災から1年5か月が経過する中、67年前の被爆の惨禍とそこから復興してきた昭和20年～30年頃の長崎の姿を辿ることで、被災地の復興を考え、また人間の持つ力にも思いをはせようというものです。

日時：8月1日(水)～9日(木) (最終日は午後5時まで)
場所：追悼平和祈念館 地下2階交流ラウンジ

原爆写真展は、次の日程・場所でも開催されます。
7月2日(月)～7日(土) 活水中学校・高等学校

問い合わせ：長崎平和推進協会 写真資料調査部会
電話(095)844-9922



下平 作江さんへ市政功労表彰

—平成24年度長崎市表彰式—

4月2日、ブリックホールで行われた「平成24年度長崎市表彰式」において、当協会の継承部会員である下平作江さんが、市政功労表彰を受けられました。

多年にわたり被爆者団体の要職にあって、被爆者援護の充実と世界恒久平和の実現に尽力し、長崎市の被爆者援護と平和行政の推進に貢献されたということで表彰されたものです。

当協会関係でも、長年にわたり、継承部会員として被爆体験講話を行っていたかとともに、かつては理事や広報委員長などとして協会運営に力を注いでいただきました。

今回の受賞を心からお喜びするとともに、下平さんのますますのご活躍を期待いたします。

被爆者健康講話のお知らせ

祈念館では、被爆者健康講話を6月から開講しました（全10回）。今年度からは五島市にも会場を設け、インターネットでの中継講話を行っています。

7月以降の講話は次のとおりです。長崎会場・五島会場ともに、参加ご希望の方は祈念館へご連絡下さい。

場所：祈念館地下1階研究室（長崎会場）

福江総合福祉保健センター 2階研修室
（五島会場）

時間：午後3時～4時

電話：(095) 814-0055

第2回 7月19日(木) 「足の健康と靴」

第3回 8月23日(木) 「体をめぐる血液の働き」

第4回 9月20日(木) (未定)

「平和の灯」を一緒にともしませんか？

小中学生や市民が平和への願いを込めて作った約5,000本のキャンドルに灯をともし、平和を祈るコンサートを次のとおり開催します。

当日は会場内でキャンドルにメッセージやイラストを描くこともできますので、皆さまご来場ください。

日時：8月8日（水） 午後6時45分～8時30分

場所：平和公園内 平和の泉

出演者：城山小学校、山里小学校、江平中学校、
十八銀行混声合唱団、長崎県オペラ協会、
オペラユニットレジェンド、NAG's

※コンサートは内容が一部変更になる場合がございます。

お問い合わせ 事務局 長崎市被爆継承課 ☎(095)844-3913



会員数報告

◎維持会員	1,140人
◎賛助会員	161人
◎学生会員	12人
平成24年6月6日現在	

寄付者紹介

ありがとうございます

◎松本 耕児	一万円
◎調 朝子	一万円
◎愛荘町立愛知中学校	九千八百六十六円
◎正林 克記	千五百円
◎匿名	二万円
◎匿名	六千円
◎匿名	千円
(敬称略)	

会費納入のお願い

当協会の活動は、皆さまの会費に支えられています。

今年度まだ会費を納めていただいていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、郵便局・銀行で納入くださいますようお願いいたします。